

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.117号 2020年12月2日発行



庭からの便り

つい最近のこと、入院した方から嬉しい言葉を戴きました。「手術のあと、朝夕、庭を歩いたの。息をすると、細胞のひとつひとつが新しくなるような感覚だった。黄色い蝶が小さなタンポポの花の蜜を吸っていてね。ああ、この季節はずれに咲いた花はこのためだったんだと思ったら、感動してしまったの。庭はほんとうに素晴らしいですねと、先生や看護師さんに言ったら、みんな同じように『ありがとうございます』って。素敵でしょう。それから、庭のレッドオークの色づいた葉を集めて看護師さんたちにプレゼントしたら、とても喜んでくれたの」。

そう、お話しする様子は心から幸せそうでした。病院の庭は、小さな命の営みに心を寄せたり、悲しみを草の上に置いて、嬉しいことを少しでも持ち帰るところだと思います。どうぞ、グリーンボランティアの方々は「手入れの行き届いた庭」を目指して頑張らないで下さい。ここを愛しむ全ての人の心が育てた庭は、いつだって美しく優しい。冬のひと休みが終わったら、また楽しみながら庭仕事をしましょう。そして、訪れる多くの方が四季の香りを楽しんで下さいませよう。

[萩尾 エリ子]

*グリーンボランティア顧問の萩尾エリ子先生に寄稿いただきました。肩の力を抜いて、楽しく活動をするようにとのアドバイス、心に留めて気長に続けていきたいものです。

ランタン作りに参加して

10月28日にハロウィンで点灯する「ジャック・オ・ランタン」を作りました。いろいろな形があって、皆さんのデザインも色々でした。大きなふくろうのランタンが存在感があって、感動です。



教わりながら大きなカボチャをくり抜いて、好きな形にする作業がとても楽しくて、没頭してしまいました。そして、30日の夕方に明かりを点ける作業も参加させていただきました。夕方、薄暗くなってから魔女になった方達がロウソクを灯しに回るのですが、雰囲気があって素敵でした。

今年はイベントが中止になってばかりでしたが、自由につくることの楽しさや飾る作業も楽しく、その楽しさが入院されている患者さんや勤務している方々に伝わって、窓の外に灯りを見つけて、ホッとしてもらえたら嬉しいと思いました。

[久保田]

秋の小さなグリーンバザー

コロナ禍の中で工夫をしてのバザー開催でした。規模を小さく、主会場はハーブガーデン、ハーブティのふるまいとバザーの通常の周知はしない等。

11月11日（水）の当日は秋晴れの下、リースは木立の中に飾られ、テーブルの上にはハーブティ、ラベンダーサシェ、手作り小物等が並びました。ガーデンでは通常の作業も行われ、私たちの活動を見ていただく機会にもなりました。メンバーの声かけもあり、多くの方に来ていただきました。元メンバーの助っ人もありました。私たちの活動がたくさんの方々に支えられていること、病院に庭があることの豊かさを改めて感じました。もちろんバザーに向けて、リース作りやハーブティの袋詰め等々、楽しい作業もたくさんありました。制約のある中でのバザーでしたが、無事終わり、ほっとしています。素敵な一日をありがとうございました。 [吉田]



新しいメンバーです

- ☆昨年まで清里萌木の村のガーデナーをしていました。今年、原村へ越してきて、諏訪中央病院で長男を出産しました。お産の始まりにも散歩したくらいに大好きなこちらのお庭で、何かお役に立てたら嬉しいです。 [菊島優里花]
- ☆2年前に東京から原村に移住し、植物をはじめ大自然に守られ、心地好い毎日を過ごしています。昨年からハーブに触れる機会に恵まれ、これから八ヶ岳の麓でハーブと共に暮らしていきたいと思っています。 [熊谷裕子]
- ☆ずっと気になっていたグリーンボランティアに、この度、ご縁あって仲間入りさせて頂くことになり、とても嬉しいです。花と緑そして皆さんの想いがつまった、このお庭にとっても癒されます。季節の移ろいを感じながら、少しずつお手伝いさせていただきたいと思います。 [淵上貴美子]

学習会のお知らせ

1月～3月の冬休み中に学習会の開催を予定しています。日時、講師は下記のとおりですが、変更の場合もあります。その際は、連絡網にて周知します。

時間：10時～12時 **場所**：講堂（病院東棟2階） **飲み物**は各自持参

1月20日（水）鎌田實先生

2月17日（水）高木宏明先生

3月17日（水）萩尾エリ子先生

お話のあと、反省会、来年度に向けての話し合いを行います。

*今回はコラムをお休みします。なお、前号の116号はコラム13となっていましたが、正しくは12です。ここに訂正します。裏面に当病院に通院され、化学療法を受けられている方の所感を掲載しましたので、ご覧ください。